



太陽っ子

かしこく
やさしく
たくましく

第13号

令和5年1月23日

大野小学校

文責 上原

寒さに負けず



一月もあつとい
う間に、終盤にさ
しかかってきました。季節は、
冬まったただ中。一月二十日は、
二十四節気の「大寒」と呼ばれ、
一年の中で最も寒い時期と言わ
れています。

特に、今週になって寒さが厳
しくなり、予報最高最低気温が
十度を下回る日もあるよう
です。子どもたちが登校する時間
帯は、朝の冷え込みが厳しいで
すが、元気に登校している姿に
エネルギーをもらっています。
休み時間にも、運動場で遊ぶ姿
が見られ、まさに
に「子どもは風
の子」ですね。
規則正しい生
活とバランスの
とれた食事、睡
眠、運動を心がけ、寒さにもウ
イルスにも負けず、元気に過こ
して欲しいと思います。



音読集会

本校では、毎週水曜日の朝の
時間に集会活動を行っていま
す。その一つ、「音読集会」で
は、今月の詩を
音読します。

一月はリモー
トで実施しまし
た。放送委員が、
低学年の「まっ
すぐについて」、
中学年の「十二
か月」、高学年
の「こころ」の三つの詩を暗唱
し、手本を見せてくれました。
(毎回、放送委員は全ての詩を
覚えていきます。すばらしい！)
その後、低中高に分かれて各
教室で音読をし
ました。日本語
の響きや美しさ、
「声を合わせる」
ことの気持ち良
さを感じる機会
となっています。



給食週間

日本の学校給食は、明治二十
二年に始まり、各地に広がって
いきましたが、戦争の影響など
によって中断されました。

戦後、食糧難による児童の栄
養状態の悪化を背景に学校給食
の再開を求める声が高まるよう
になり、給食用物資の寄贈を受
けて、昭和二十
二年から学校給
食が再開されま
した。これを記
念して、一月二十四日から一月
三十日までの一週間を「学校給
食週間」としました。

本校でも、給食週間を設定し、
給食や食、食べ物について考え
る機会としています。
二十日(金)

には、岱明学校
給食センターの
森崎栄養士をお
招きし、全校児
童にお話をして
いただきました
。給食ができ
るまでの工程や
気をつけている
こと、給食に込められた思いな
どについてしっかり学ぶことが



できました。
またこの日は、大野小の六年
生が考えてくれたリクエスト献
立「元氣爆発お子様ランチ」で
した。栄養満点のメニューで、
おいしくいただきました。



食育は、「生きる上での基本
であって、知育、徳育及び体育
の基礎となるべきもの」と位置
付けられています。その中で、
学校給食は子供たちが食に関す
る正しい知識と望ましい食習慣
を身に付けるために大切な役割
を果たしています。
ご家庭でも、お子さんと食事
や料理をしながら、食の大切さ
について話題にしてみたいか
がでしょうか。